



平家谷そうめん流し

## 【6月定例会日程】

### 6月定例会の概要

平成28年6月定例会は、6月7日に開会し、15日間の会期で6月21日に閉会しました。

この定例会において、報告10件、諮問1件、同意案1件、条例案3件、予算案4件、請願4件、議員提出議案1件、その他2件、計26件が上程されました。

請願については、2件が不採択、他の2件は審議未了、その他の案件については、原案のとおり可決、決定等されました。

会議日	会議別	会議内容
6月7日(火)	本会議	議案の上程 提案理由の説明
13日(月)	本会議	一般質問(5名)
15日(水)	本会議	議案に対する質疑
	委員会	総務委員会
16日(木)	委員会	民生文教委員会
17日(金)	委員会	産業建設委員会
21日(火)	本会議	委員長報告 討論、採決

※次回定例会は9月に開催の予定です。

# 市政をただす 一般質問



今定例会では、5人の議員が一般質問に立ち、市長はじめ関係理事者の考え方をたしました。

質問及び理事者答弁は質問者本人が要約したものです。

なお、掲載は質問順、一般質問の詳細につきましては、会議録に掲載しています。

一般質問者			
No	質問者	No	質問者
1	遠藤 素子	4	佐々木加代子
2	竹内 秀明	5	河野 裕保
3	石崎 久次		

## 会議の詳しい内容を知るには

本会議の内容をそのまま記録した文書として会議録があります。

会議録は、議会事務局、市立図書館、中央公民館、中央公民館保内別館で、ご覧になることができます。また、市議会ホームページ上でもご覧になれます。



遠藤素子議員

### 質問事項

すべての市民が安心してくらせる街を目指して

- 1 すべての市民が安心してくらせる街を目指して
- 2 熊本地震から当市の災害対策を見直す

熊本地震から当市の災害対策を見直す

**問** 障害を持った人が、今ある制度を活用して生活できているか。

**答** 障害者手帳の申請時に、利用できるサービスの説明をしている。また、保健福祉センターにおいても、年6回、専門の相談員による障害に係る相談を実施しており、その際にサービスの周知も併せて行っている。

**問** ある障害者の親の会の方から、学校卒業後の居場所および親亡き後のことを考えて、グループホームのような施設が欲しいとの強い要望があるがどうか。

**答** 共同作業所がほしいという熱い思いを聞いている。今後、よく話し合いをして、可能などころは取り組んでいきたい。

**問** 子どもの貧困と関わって、今年の就学援助制度の周知はどうなっているか。

**答** 2月に、この制度の内容と申請方法を記載した案内書を、小中学校及び入学予定保護者に配布した。

**問** 老老介護・病病介護などのような世帯への支援はどうなっているか。

**答** 居宅介護支援事業所より介護支援専門員が利用者の心身および家族の状況などに応じ、継続的計画的に介護サービスなどの利用が行われるよう、相談に応じている。

**問** 熊本地震は、活断層が動いたこと、震度7の地震が2回も起こり、四国電力が示している「基準地震動」を大きく上回った。余震が1千数百回も起こる中、新幹線、在来線を含めた鉄道、高速道を含めた道路や橋などがすべて寸断された。このような地震が伊方で起こり、原発事故が起こったら、どうなるのかと市民の不安が高まっている。屋内に避難することができず、外に出れば被ばくすることが想定され、命の保証がない。やはり原発は動かしてはいけないという事ではないか。また、それでも動かすなら、国・県・電力会社による住民説明会を開くべきではないか。

**答** あのような地震が起こり、かつ余震も継続している時に、原発で過酷事故が発生した場合、相当混乱することは避けられないと思う。まずは現在の身の危険から身を守ることを優先すべきと考える。原発については、厳しい規制基準に合格したもののについては、運転を認めていくこともありうる。規制委員会は、専門的な知識は十分に備えていると思っているので、最新の知見を踏まえた対応を取るように、規制庁にも要望していきたい。説明会については、その必要性も踏まえて、県とか規制庁と相談してみたい。



竹内秀明議員

質問事項

- 1 要保護・準要保護家庭の現状に伴う入学準備金支給時期について

**要保護・準要保護家庭の現状に伴う入学準備金支給時期について**

**問** 要保護者、準要保護者の数が年々増加傾向にあり、平成27年度のデータでは、要保護児童・生徒が全国15万人弱、準要保護児童・生徒が137万人弱いる。愛媛県下では、要保護児童・生徒が646人、準要保護児童・生徒が7千206人おり、当市では平成27年度で要保護児童・生徒が18人、準要保護児童・生徒が208人となっている。

ひとり親家庭の実際にある話として、収入が安定している正規雇用に就きたいが、就職難といった現状や小さい子供がいるため、やむなく非正規雇用に就いた。しかし、子供の体調不良等で仕事を休んだり早退しなくてはいけない日が増した。だが給料は時給なので収入は限られる。「その日の生活がいっぱいいっぱいで貯蓄に回す余裕などない。」といった話を聞く。義務教育である小学校や中学校に入学する際に支給される要保護、準要保護児童・生徒学用品費を、ひとまず実費で支払った後の5月末支給というシステムに矛盾を感じるといった意見がある。

私が調べたところでは、大洲市が7月中旬、西予市が5月上旬、松山市では6月中旬から下旬、伊予市が6月下旬から7月上旬、宇和島市では5月下旬と、何処も入学

後の支給となっていた。

ひとえに要保護、準要保護家庭と定められていても、各家庭の生活状況が見えにくいのが現状ではある。結婚・出産に際して多少なりとも将来設計を持つべきであり、離婚に際しても然りであるが、どうしてもやむを得ない事情があつてのひとり親家庭もある。一概に親の自己責任という言葉で片付けられない子供が一緒に責任を抱えるものでもない。「子育て」とは、「地域の将来を担う人間を育成している」ということであると再認識し、ダイレクトに子供に支援が届く仕組みを考慮すべきではないかと思う。

そこで、要保護、準要保護家庭の子供も、そうでない家庭と変わらない環境で安心して進・入学し、学習に取り組める準備ができるよう、他市に先駆けて新入学児童生徒学用品費の支給時期見直しをできないか。

**答** 要保護児童・生徒に対しては、入学準備のために必要な費用について、生活保護費の一時扶助として限度額の範囲内で入学前に支給している。準要保護については、支給後の転居や所得の確認後の認定取り消し等、問題が生じる可能性があるが、平成29年度からの新入学児童・生徒を対象に、早期支給を望む世帯に年度内支給が出来るよう検討したい。



石崎久次議員

質問事項

- 1 危機管理について（災害が必ず発生するとして）

**危機管理について（災害が必ず発生するとして）**

**問** 県内20市町のうち6市町が応急仮設住宅の建設候補地の選定において確保できていないとなっているが、当市もこの6市町に含まれている。なぜ遅れているのか。

**答** 当市としては26施設の公園や廃校を含む小・中学校を選定した。ただ、利用できる平地、更地が少ないという当市の特別な事情がある。

**問** 災害発生時から津波等により甚大な災害へと変化していく中で、医師、看護師の体制はどうなっているか。

**答** 市立八幡浜総合病院の災害医療計画では、震度6強で職員全員が参集することになっている。平成26年実施した参集可能人員の把握調査では、平日夜間の場合、発災後1時間で約3分の1強、2時間で2分の1、4時間で3分の2の職員が参集可能である。ただし、津波を伴うと、今の数字の40%程度と把握している。

**問** 南海トラフ巨大地震の際の被害が最大とした場合、市立病院に搬送される被災者数はどれぐらいを想定しているのか。

**答** 冬、深夜、強風時に発生したことを想定して、八幡浜市、伊方町の重症者468人、死者992人のうち10%の99人に加え、567人、さらに西予市、三瓶町を含め

ると600人以上の重症患者が想定される。そこで、当院が実施すべきことは、八幡浜医師会救護班などがトリアージをし、その後、重症あるいは、中等症以上と判定した傷病者の再トリアージと治療、安定化を図ることであり、その後、被災地外への送り出しという作業となる。

（\*トリアージとは、患者の重症度に基づいて、治療の優先度を決定して選別を行うこと）

**問** ライフラインの復旧が早急に必要だと思いが上水道の場合の復旧体制はどうなっているか。

**答** 水道の応急活動の協定は、八幡浜市管工業協同組合と結んでいる。4月に発生した熊本地震などの未曾有の災害に対しては、八幡浜市が正会員となっている日本水道協会において、協会内に救援対策本部が設置され、各地方支部内の正会員に対し応急給水及び応援態勢が整備される。四国地区は、中国、四国、九州の各支部の水道事業体より支援してもらえる。

**問** 熊本地震の時の水道復旧には大体何日ぐらいで復旧できたのか。

**答** 応急復旧については、5月14日までに終わっている。



佐々木加代子議員

質問事項

- 1 防災・減災対策について
- 2 健康マイレージについて
- 3 AEDのコンビニ設置について

防災・減災対策について

**問** 東日本大震災の教訓を機に政府は、国土強靱化基本法を平成25年に公布施行し、都道府県または市町村に国土強靱化地域計画の策定を求めている。基本法の概要としては、1. 人命の保護、2. 国家及び社会の重要な機能が致命的な障害を受けず維持される。3. 国民の財産及び公共施設にかかる被害の最小化。4. 国土強靱化を推進するための体制を早急に整備することなどがある。県・市町が地域計画を策定すること、32の関係府省庁所管の交付金・補助金などの支援が高じられるとあるが、当市としての策定の時期、内容などは検討されているのか。

**答** 県が28年3月に策定したが、県内において策定している市町はない。当市の計画策定については、市土、県土、国土という視点から国、県及び近隣市町との連携を図る必要があるため、県内各市町の動向、内容も見ながら策定していく。

**問** 政府は、大規模災害に備えて自治体が作成する防災復興計画に、女性の視点を反映させるための男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針案を公表している。この指針案では、避難所の開設当初から男性の目線が気にならない更衣室や授乳室、トイレなど、女性専用のスペースの確保や、地方防災会議における女性委員の割合を高めていくことなどを自治体に要望する内容を

となっている。この指針案に対する当市の考えはどうか。

**答** 市の自主防災会では、女性防災士の割合が低いので、各地域に女性防災士を一人でも多く配置できるように女性防災士の資格取得を推進していくとともに、今後は女性防災会議等々を発足して、女性だけの会議というのも考えていきたい。

健康マイレージについて

**問** 健康診断の受診やスポーツ活動、毎朝のラジオ体操やウォーキングなどの健康づくりに参加することで、ポイントを集めると特典を利用することができる健康マイレージの取り組みをされてはどうか。

**答** 健康マイレージ制度は、健康長寿社会の構築に向けて、健康意識の向上と高度化を図るための具体的な方策であり、おもしろい取り組み。先進的な事例を参考にし、調査研究していきたい。

AEDのコンビニ設置について

**問** 24時間どこでも誰でも必要なときに利用できる環境を整備することが好ましい状況であるため、24時間営業のコンビニへのAED設置を要望したいがどうか。

**答** 経費の面を含めて、どのように整備・維持していくべきか、もう少し議論して、検討していきたい。



河野裕保議員

質問事項

- 1 八幡浜市における所得格差の実相、及び不平等な社会は蔓延しつつあるのかについて
- 2 第2次総合計画、及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の推進により勤労世帯の所得は向上するか想定外を想定した巨大地震の備えについて
- 3 経済的な理由で就学が困難な家庭が増える傾向にあると捉えている。

八幡浜市における所得格差の実相及び不平等な社会は蔓延しつつあるのかについて

**問** わが国の相対的貧困率（厚生省国民生活基礎調査2012年）は、全世帯の約16.1%に上り生活困窮者とされているが、本市では基準を踏まえた調査等を実施し、実態把握しているのか。

**答** 厚生労働省による相対的貧困率は指摘の通りだが、市では基準による実態把握は行っていない。

**問** 日本の子供の貧困率（子供全体のうち貧困の世帯に属する子供の割合）は、16.3%、約6人に1人が貧困層にある。本市においても、経済的理由により、就学が困難と認められる児童・生徒の保護者も増加しており危惧している。本年度の準要保護申請受理件数の対前年度を比較すると、小学校では6.3%、中学校では17.5%上昇している。市内の小学校全児童に占める、要・準要保護児童数の割合は、9.7%で約10.3人に1人である。中学校では、11.9%で約8.4人に1人の割合である。小・中学校を合計すれば、10.5%で9.5人に1人となる。この数値をどう捉えているか。

**答** 平成28年5月1日現在の就学援助率は、指摘の通り小・中合わせて10.5%になっている。5年前同時点の援助率は、7.89%であるので5年間で2.61%上昇している。

経済的な理由で就学が困難な家庭が増える傾向にあると捉えている。

**問** 現下の社会は、本人の能力と努力で這い上げられるシステムではなくなりつつある。上層階層は子弟教育が充実し、学歴と能力と縁故等によって就職先が約束されている。貧困階層にあつては貧困の連鎖で低所得がついて回る。これを断ち切るには学力を上げさせることだ。生活困窮家庭の児童・生徒の学力を調査し、問題点が見られるならば退職教師等を動員して対応することだと考えるが。

**答** 子供たちの実態を調査分析し、方法を検討していきたい。

**問** 臨時福祉給付金支給該当者、及び子育て世帯臨時特例給付金の支給者並びに年金生活者等支援臨時福祉給付金支給予定者は、平成26年度臨時福祉給付金は、同年度に市民税均等割が課税されていない方を対象として、1人1万円を支給した。5千811世帯で、全世帯の34.5%に当たる。該当者は8千814人で、人口の23.6%である。子育て世帯臨時特例給付金の1万円は、1千933世帯であり、3千341人に支給した。年金生活者等支援臨時福祉給付金は、今年度3万円支給するもので、最終的な該当者としては、申請書の審査を要するが、4千902世帯、6千156人を予定している。

## 総務委員会報告

樋田 都 委員長

請願第35号、「安保法」の廃止を求める意見書提出についての請願」について

**意見** 戦後71年間、これまで日本が他国と戦争を行わなかったのは憲法第9条、戦争の放棄によるものであり、これと非核3原則により日本の平和が守られてきたため、この請願については賛成である。

**意見** 国際情勢は常に変動している。「戦力を保持しなければ、他国が攻めてこない」という時代ではない。国民の生活を守り、幸福を追求していくためには、この安保法が必要である。安保法がなければ日本は存続していくことができないため、この請願については反対である。

**意見** 間もなく参議院議員選挙が告示となり、それぞれの候補者が「安保法」についての考えを述べられると思う。その意見を参考にして「安保法」についても一度しっかり考えたので、閉会中の継続審査としてはどうか。

**意見** 継続審査という意見に対しては、中国の軍艦が口永良部島付近の領海に侵入しており、このような状態で国を守っていかなければならない。請願に反対の立場であるが、早く採決をすべきである。

**意見** 人の意見じゃなく、議員として自分の意見を持つておくべきだ。今日、採決をすべきである。

継続審査についての意見が分かれ、賛否を踏ったところ、可否同数となり、委員長の裁決により、この請願は閉会中の継続審

査とすることになった。

請願第37号、「伊方原子力発電所3号機の耐震安全性審査の見直しと再稼働に関する住民説明会を求める請願」について

**意見** 断層はあるが、伊方3号機は基準地震動に対応しており、また、ここは固い岩盤であり、こういう地震に対する恐れはない。この請願には反対である。

**意見** 3号機の耐震安全性審査見直しという文言に対し現実性に乏しいため、この請願には反対である。

審査の結果、この請願は不採択となった

ICT（情報通信技術）を活用した結婚支援事業委託料について

**問** 今、市では縁結びコーディネーター事業を行っているが、このICTを活用した結婚支援事業とはどのように結び付けていくのか。

**答** この事業は、えひめ結婚支援センターの婚活システムを導入しビッグデータを活用した支援を行うものであり、八幡浜市ではシステムの設置場所を文化センター内に考えている。

そこで、「愛結び登録会員」に登録した方がタブレット端末を利用して会員情報を閲覧することができる。気に入った方にアプローチをする際には、県が指定するコーディネーターを通じて、出会いのセッティング等をメールにより調整することとなる。市の縁結びコーディネーターにも県の登録のコーディネーターになっていただいて、仲立ちをしていただくように考えている。

**問** この会員に、比較的高齢で未婚の方が

登録してもあまり効果が見込めないのではないか。また、会員も全体では2千450人おられるが、南予では200数十名ほどしかない。本当に市の少子化対策としての効果があるのか。

**答** ICTのシステムの良いところは、登録して自分の「好み」を入力すると、コンピューターにより「好み」を認識して逆に「紹介してくれる」という双方向でのやりとりがあるので、「好みの方と出会える機会が一層増してくる」と考えている。

**問** 個人情報の管理体制はどのようになっているか。

**答** 登録者だけしか閲覧はできないし、見る時も「携帯電話、筆記用具は持ち込みも不可」としてあり、データを持ち出せないようにしている。また、登録、閲覧の際には免許証等による本人確認も行っている。



## 民生文教委員会報告

佐々木 加代子 委員長

市立八幡浜総合病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

**説明** 今回、一般病床数は大幅な削減となるが、近隣の公立病院の一般病床数と比べると、市立宇和島病院426床、西予市民病院102床、市立大洲病院154床となっており、当院の254床は、市立宇和島病院に次ぐ規模であり、南予北部医療圏域の中核病院としての機能を十分果たせるものと考えている。

**問** 例えば西予市であれば隣の市立宇和島病院へ行く患者が多いことによりそれだけの病床数としていることが想像できるが、なぜ大洲市より人口の少ない当市が市立大洲病院よりも病床数を多く設定したのか。

**答** 大洲市には市立大洲病院と同規模程度の病院が複数存在することが要因と考えられる。そのため救急の時にも大洲市は週に1, 2回の当番で済むが、当地域においては市立八幡浜総合病院が一手に引き受けているためこのような状況となっている。

**問** 近年は隣接市町とのインフラ整備もかなり整ってきているため、医療の広域連携の重要性が増していると思うがどうか。

**答** 医療圏域内の広域化については愛媛県の保健所が中心となって検討されており、重要なことだと認識しているが、一方では市内に病院があるのであればそこで診てもらいたいという市民からの要望もあり、両

方の面を見ながら進めて行きたい。

**八幡浜市地域型放課後児童見守り事業補助に關連して**

**問** 現在小学校単位に設置されている放課後児童クラブと、この放課後児童見守り事業との違いは何か。

**答** 放課後児童クラブは、年間の開設時間、開設日数、常勤の指導員の人数等の設置基準が明確に決まっております。国・県からの財源的補助があるのに対して、放課後児童見守り事業は、放課後児童クラブが設置されていない小学校区での自主的な運営事業に対する市独自の助成事業である。ただし、その事業内容は放課後児童クラブとほぼ同じである。

**問** 今回の補正予算で補助をする日土、双岩校区以外の真穴校区等にはそのいずれも設置されていないと思うが、その地元からそういった要望はないのか。

**答** 真穴校区からは農繁期受け入れといった形で過去に要望があったため、日土・双岩よりも早い時期から農繁期のみ対応している。

**要望** 実は真穴校区においても、当初は年間を通して受け入れを要望していたはずであるが、ミカン時期だけでもということ、そういった形となっている。そして、今回日土・双岩に対応するというところで、年間を通して事業が行われていない真穴・川上校区についても、要望がないから助成しないということではなく、学校等を通じて要望調査の投げ掛けをしてほしい。

**産業建設委員会報告**

平 家 恭 治 委員長

**「シーロード八幡浜」浮消波堤撤去・解体工事費について**

**説明** 「シーロード八幡浜」の岸から3番目の浮消波堤が本年1月19日の暴風波浪により、アンカーチェーンが切断され、海中に直立した形で沈没している。復旧と「撤去・解体」の両方を検討した結果、「撤去・解体」に係る経費約8千600万円に対し、復旧には係留施設の更新も含めて約2億5千万円必要のため、財政的に復旧は無理と判断し、「撤去・解体」することにした。

**問** 3号堤を撤去することだが、消波堤としての役割は果たせるのか。

**答** 地元の漁業者からは、やはりそのままの状態では影響があるため、残りの7基の配置を変えて隙間がないようにしてほしいとの要望が出されている。しかし、浮消波堤を係留しているアンカーとシンカーの耐用年数は20年であり、現在、この施設は21年が経過しているため、係留施設と同時に更新しなければ浮消波堤の移動はできない。1基の更新に約1億円の経費が必要になってくるため、維持管理計画を立て起債を活用しながら進めていきたい。

**問** 「シーロード八幡浜」には浮消波堤以外にも吊り橋や駐車場といった施設もあるが、その施設の状態は現在どうなっているのか。また、今後はそれら全体を含めた総点検が必要だと考えるがどうか。

**答** 吊り橋については、今のところ老朽化

は見られないが、駐車場については、かなり老朽化が進んでおり、一昨年から委託会社の従業員が毎日点検を行い使用している状態である。いずれもかなりの年月が経っているため施設全体の総点検は必要だと考えている。

**問** 今後の経費を考えるとシーロード八幡浜自体を見直す時期に来ていると思われる。浮消波堤と駐車場については今後、撤去という方向も一つの案として考えてはどうか。

**答** この施設は観光施設の部分と漁業補償の部分で別けて考える必要がある。観光施設には吊り橋と施設棟それから駐車場があるが、この部分の市債の償還が平成31年度で終了するため、その時点で協議を行い、その後の閉鎖もあり得ると考えている。

浮消波堤については、須田の埋立てに伴う漁業補償施設として計画した経緯があるため、全てを撤去するのは難しいと考えている。しかし、浮消波堤の数は減らしたいとの考えもあるため、今後、養殖業者と協議していきたい。



**八幡浜市特産品販路開拓支援事業補助金について**

**説明** この負担金、補助及び交付金50万円は、「スーパーマーケット・トレードショー」を含む大規模見本市や商談会へ出展する市内業者に対する補助金で、10万円を限度に、旅費、出展料、物品の運搬費、備品借上料など、出展に必要な経費の2分の1を助成するものである。

**問** 特産品の販路開拓については、過去からいろいろな形で取り組んでいるが、今回はどのような物を八幡浜市の特産品として出品しようと考えているのか。

**答** 今回はどのような商品でもかまわないので、市内事業者で販路を拡大しようとする意欲のある方に対して助成を行い、市内事業者が扱っている商品を広くPRしていくことが目的であり、同時に市内事業者のやる気に繋がることを期待している。

**問** 東京には愛媛県の特産品を扱っているアンテナショップがあり、そこに八幡浜の特産品も置かれていた。見本市等でのPRも大切だが、東京在住の方々に対してはアンテナショップのPRも必要と考えるがどうか。

**答** 東京のアンテナショップ旬彩館は愛媛県と香川県が合同で設置している。愛媛県のホームページで旬彩館のPRは行っており、また、毎年2月頃に開催される八幡浜フェアの際には関東の愛媛県人会の方へ案内状を送付するようにしている。まだまだPR不足と考えているため、もう少しPRを強化する方法がないか検討したい。

## 6月定例会 審議結果

番 号	件 名	審議結果
報告第5号～ 報告第7号	債権の放棄について	報 告
報告第8号	専決処分の報告について（平成27年度八幡浜市一般会計補正予算（第7号））	原 案 承 認
報告第9号	専決処分の報告について（八幡浜市市税条例等の一部を改正する条例の制定について）	原 案 承 認
報告第10号	専決処分の報告について（八幡浜市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について）	原 案 承 認
報告第11号	専決処分の報告について（八幡浜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）	原 案 承 認
報告第12号	専決処分の報告について（八幡浜市多目的研修集会施設の屋根材剥落飛散による車両破損事故に係る相手方との和解及び損害賠償の額の決定について）	報 告
報告第13号	平成27年度八幡浜市一般会計繰越明許費繰越計算書	報 告
報告第14号	平成27年度八幡浜市公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書	報 告
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議のない旨答申
同意案第1号	教育委員会委員の任命について	原 案 同 意
議案第53号	市道路線の認定について	原 案 可 決
議案第54号	地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原 案 可 決
議案第55号	市立八幡浜総合病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議案第56号	市立八幡浜総合病院職員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原 案 可 決
議案第57号	平成28年度八幡浜市一般会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第58号	平成28年度八幡浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第59号	平成28年度八幡浜市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第60号	平成28年度八幡浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第61号	愛宕中学校第2校舎大規模改修建築主体工事請負契約の締結について	原 案 可 決
請願第35号	「安保法」の廃止を求める意見書提出についての請願	審 議 未 了
請願第36号	日本政府に「核兵器全面禁止・廃絶国際条約」の締結のための行動を求める意見書提出についての請願	不 採 択
請願第37号	伊方原子力発電所3号機の耐震安全性審査の見直しと再稼働に関する住民説明会を求める請願	不 採 択
請願第38号	政府に対して「熊本地震を受けて伊方3号機の再審査を行うこと」を求める意見書採択を求める請願書	審 議 未 了
議員提出議案 第 4 号	「核兵器のない世界」実現への取り組みを求める意見書の提出について	原 案 可 決
	議会閉会中における継続審査について（請願第35号）	原 案 否 決
	議会閉会中における継続審査について（請願第38号）	原 案 否 決

## 各議員の議案に対する賛否の状況

賛否の分かれた案件を記載しています。そのほかについては全員賛成で可決されました。

議 席		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
議案番号	氏 名	西 山 一 規	佐 々 木 加 代 子	竹 内 秀 明	岩 淵 治 樹	平 家 恭 治	河 野 裕 保	石 崎 久 次	樋 田 都	新 宮 康 史	上 田 浩 志	井 上 和 浩	遠 藤 素 子	宮 本 明 裕	山 本 儀 夫	大 山 政 司	萩 森 良 房	
	報告第11号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	○	×	○	○	○	○
議案第55号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○
議案第56号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○
議案第57号	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	×	○	○	○	○
請願第36号	否	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○		×	○	×	○	○	×
請願第37号	否	×	×	×	○	×	×	○	○	×	○		×	○	×	○	○	×
議員提出議案 第 4 号	可	×	○	○	×	○	○	×	×	○	○		○	×	○	×	×	○

〔○：賛成 ×：反対 上田浩志議長は採決に入っていません〕

# 議 会 日 誌 (H 28. 3. 26 ~ H 28. 6. 6)

月 日	行 事 等	出 席 者
3月26日	まるごとみかんフェスタ伊方会場オープニング (伊方町)	議 長
"	南予の魅力満開フェスタ開幕式典	議 長
3月28日	市政功労者表彰式	議 長 ほか
"	愛媛県市町振興協会評議員会 (松山市)	議 長
3月29日	八幡浜市文化会館運営審議会、Keiro Northwest来庁	議 長
3月30日	伊方原子力発電所環境安全管理委員会 (松山市)	議 長
4月3日	八幡浜さくら祭り	議 長 ほか
4月7日~8日	全国自治体病院経営都市議会協議会正副会長・監事・相談役会議 (東京都)	議 長
4月8日	八幡浜高校入学式 (副議長)、八幡浜高校定時制入学式 (議長)	議長、副議長
4月11日	川之石高校入学式 (議長)、八幡浜工業高校入学式 (副議長)	議長、副議長
4月12日	愛媛県市議会議長会春季定期総会 (今治市)	正 副 議 長
4月14日	新就職者激励大会	議 長
4月26日	第78回四国市議会議長会定期総会 (松山市)	正 副 議 長
4月27日	八幡浜商工会議所青年部定時総会懇談会	議 長
4月28日	保内地区老人クラブ連合会総会	議 長
4月29日	第41回二宮忠八翁飛行記念大会開会式、平家谷そうめん流しオープン行事	議 長 ほか
4月30日	八幡浜ライオンズクラブ創立60周年記念式典	議 長
5月9日~10日	衆参国土交通委員会委員長等への陳情 (東京都)	議 長
5月11日	2016原水爆禁止国民平和進行団来庁	議 長
5月12日	えひめ国体えひめ大会八幡浜市実行委員会第2回常任委員会、総会	議 長
5月13日~14日	全国自治体病院経営都市議会協議会第74回理事会・第44回定期総会 (東京都)	議 長
5月14日	やわたはま国際MTBレース2016開会式、国道197号松柏トンネル起工式	議 長 ほか
5月15日	第43回八幡浜市戦没者追悼式	議 長 ほか
5月19日	八幡浜市管工事業協同組合通常総会	議 長
5月20日	愛媛県都市監査委員協議会定例会、八幡浜市観光物産協会総会	議 長
"	年金者連盟八幡浜支部保内分会総会	副 議 長
5月22日	保内町商工会通常総会	議 長
5月23日	第27回四国西南サミット (宇和島市)	議 長
5月26日	年金者連盟八幡浜支部総会	議 長
5月27日	愛媛県離島振興協議会定時総会 (松山市)、八幡浜市体育協会表彰式ほか	議 長
5月31日~6月1日	第92回全国市議会議長会定期総会 (東京都)	議 長
6月2日	八幡浜地区防犯協会通常総会、八幡浜高等学校定時制教育振興会総会	議 長
6月5日	八幡濱港町めぐり「八幡浜ふるさとウオーク」出発式、第29回福祉のつどい	議 長

## 編集後記

もう何年も前の記事ですが、今でも大切にしているお話をご紹介します。

通学のバスの中での話です。その日は雨が降っていたため、私が乗る始発のバス停で満席になりました。次のバス停で、赤ちゃんを右手に抱え、左手に折り畳んだベビーカーと傘を持つ女性が乗ってきました。

声を掛けて席を替わろうかと、私が悩んでいた時、他の人たちが声を掛けました。でも、その女性は遠慮して座ろうとはしません。そろそろ長い下り坂になるので、車内の人たちも皆心配そうでした。その時です。女性の運転手がバスを止め、「この後長い下り坂になりバスは揺れます。赤ん坊を抱えながら立つ大変さは皆知っています。他のお客様のご厚意に甘えてどうか席に座ってください。お客様が座られたらバスは発車致します」と言いました。傍らに座っていた人も「遠慮せずにお座りなさい」と優しく言い、女性は車内の人たちに頭を下げて席に着きました。

優しさに包まれた車内の心温まる体験でした。今も思い出すと胸にこみ上げてくるものがあります。(H21・12・27(日) 朝日新聞掲載記事より) 新宮 康史

### 《議会だより編集委員会》

- |      |         |
|------|---------|
| 委員長  | 竹内 秀明   |
| 副委員長 | 西山 一規   |
| 委員   | 佐々木 加代子 |
| "    | 平家 恭治   |
| "    | 河野 裕保   |
| "    | 岩淵 史樹   |
| "    | 新宮 康史   |
- 八幡浜市議会事務局  
TEL (代) 22-3111

市議会の詳しい情報は、八幡浜市議会のホームページをご覧ください。

八幡浜市議会

